

「神奈川区 地域福祉保健計画に寄せて」

平成15年から検討してきた地域福祉保健計画が、関係団体懇談会・区民意識調査などを集約して完成しました。多くの意見・課題などがあり、すべてを網羅することはできませんでしたが、ほぼ盛り込まれたことと思います。今後はこの計画を区民と行政が協働し、実行することが重要です。これからも、住みよい神奈川区になるように期待しています。

高木 副策定委員長

日ごろの診療で、高齢者が増えたことを実感しています。在宅ケアを支えるために、神奈川区医師会もこの目標を参考にして医療のネットワーク作りを進めます。地域の皆さんが安心して医療を受けられる体制を充実していきます。健康に関する相談は、ご遠慮なくお近くの診療所や区医師会へご相談ください。

堀内 副策定委員長

私たちの神奈川区は、ふれあい・支えあいの風土が息づく素晴らしいまちです。ここに暮らす誰もが健康で、いきいきと安心して生活し、「これからも住み続けたい」と思うことができるように、今回、神奈川区地域福祉保健計画を策定し、今後の福祉と保健の取り組みの方向性を決めました。

神奈川区では、「協働を基本とした区政運営」を大きな柱の一つに位置づけています。これからも、健康づくりや、子育て支援、高齢者・障害者のための福祉活動などのさまざまな取り組みを推進してまいりますので、ぜひ一人でも多くの方にこの計画をお読みいただき、活動に参加していただけるようお願いしております。

本計画の策定にあたり、貴重なご意見と多大な御尽力をいただいた策定委員の方々をはじめ、多くのご意見をお寄せいただいた区民ならびに関係団体の皆様に、心から御礼申し上げます。

平成17年3月
神奈川区長 福井 富夫

目次

これからも住み続けたい 神奈川区にするために	2
神奈川区地域福祉保健計画策定・推進の流れ	5
神奈川区地域福祉保健計画 「5つの基本目標」と「21の個別目標」	6
基本目標1	7
基本目標2	9
基本目標3	11
基本目標4	13
基本目標5	15
始めよう!みんなで第一歩	17
資料:かめ太郎クイズの答え	19
策定委員紹介	21
連絡先一覧	裏表紙

これからも住み続けたい 神奈川区にするために

神奈川区地域福祉保健計画とは?

～はじめに～

「住み慣れた地域で、安心して、心豊かに、いきいきと暮らす」これは、私たちみんなの願いです。

私たちの地域では、さまざまな人たちが暮らしています。

人が生まれ、育ち、学び、働き、歳を重ね、多くの人と出会い、ふれあっています。性別、年齢、職業、文化、国籍、さまざまな違いを尊重しつつ、対等な人間として、この地域で共に生きています。

それぞれ、生活の中で悩みや困りごとを抱えたときに、身近に悩みを聞いてくれる人がいて、相談できる場所があり、解決に向けて共に考え協力してくれる人がいて、活用できるサービスがあれば、どんなに心強いでしょう。

そのためには、同じ地域で暮らす人が、日頃からお互いのことを知り、人と人とのつながりを大切にして、支えたり、支えられたりできるような関係を作っていくことが大切です。

そのような地域の支えあいのしくみづくりを進める基本的な枠組みが、「地域福祉保健計画」です。

私たちが住む「地域」の10年後、20年後を、希望を持って語り合いましょう。そうした「地域」を実現するために、共に、できることから始めてみませんか。

